

## ラスト・ワルツ (1978)

THE LAST WALTZ

メディア	映画
ジャンル	ドキュメンタリー 音楽
製作国	アメリカ
色彩	Color
時間	116分
初公開日	1978/07/29
公開情報	U A
	1999/12 [ケイブルホーク]
	1999/12 [ケイブルホーク]
リバイバル	2009/11/04 [アダンソニア]
	2009/11/04 [アダンソニア]
	2018/04/14 [ブロードウェイ=アダンソニア]

## 【解説】

60年にロニー・ホーキンスのバック・バンドとして活動を始めた“ザ・バンド”が、76年11月25日、彼らが初公演を開いた場所、サンフランシスコのウィンターランドで解散コンサートを行った。これはそのドキュメンタリー・フィルムなのだが、監督が曲者スコセッシ（「ウッドストック／愛と平和と音楽の三日間」や「エルビス・オン・ツアー」のカッターだった）だけあって、完全な彼のコントロールの下で、V・ジグモンド、L・コヴァックス、M・チャップマン以下、当代一流のカメラマンを配して、一つの映像作品として独立した内容を持っている（何しろ300ページもの詳細な台本通りに運ばれたライブなのだ。もちろん事前の入念なリハーサル付きで！）。実際は6時間に及んだ公演内容のハイライトを紡いで、スコセッシ自身による、これまた挑発的なインタビューがその間隙を埋め、ちょっと窮屈なくらいよく練られた一篇。B・ディランを初め、N・ヤング、J・ミッチェル、M・ウォーターズ……アメリカン・ロックファンには垂涎のメンバーがいずれも素晴らしい演奏を披露する。哀愁たっぷりの“ラスト・ワルツ”のテーマも胸に切々と沁み、激動の60年代への挽歌と呼ばれる由縁である。But, R&R Can Never Die.

## 【クレジット】

監督	マーティン・スコセッシ	Martin Scorsese
製作	ロビー・ロバートソン	Robbie Robertson
撮影	マイケル・チャップマン	Michael Chapman
	ラズロ・コヴァックス	Laszlo Kovacs
	ヴィルモス・ジグモンド	Vilmos Zsigmond
	デヴィッド・マイヤーズ	David Myers
	ボビー・バーン	Bobby Byrne
	マイケル・ワトキンス	Michael Watkins
	ヒロ・ナリタ	Hiro Narita
出演	ザ・バンド	The Band
	ボブ・ディラン	Bob Dylan
	ニール・ヤング	Neil Young
	ニール・ダイヤモンド	Neil Diamond
	ジョニ・ミッチェル	Joni Mitchell

ポール・バターフィールド	
マディ・ウォーターズ	Muddy Waters
エリック・クラプトン	Eric Clapton
ヴァン・モリソン	Van Morrison
リンゴ・スター	Ringo Starr
ロン・ウッド	Ron Wood